

指定管理者による公の施設の
管理に関する評価について

(意見具申)

令和6年3月19日

草津市社会福祉施設指定管理者選定評価委員会

目次

1	評価対象施設	1
2	審議日程および経過	1
3	草津市社会福祉施設指定管理者選定評価委員会委員名簿	2
4	評価方法等	2
5	個別施設評価	
	草津市立西一会館／草津市立西一教育集会所	4
	草津市立橋岡会館／草津市立橋岡教育集会所	4
	草津市立新田会館／草津市立新田教育集会所	4
	草津市立常盤東総合センター／草津市立芦浦教育集会所	5
	草津市立長寿の郷ロクハ荘	6
	草津市立なごみの郷	6
	草津市児童育成クラブ	7

1 評価対象施設

指定期間3年以上の施設のうち、令和6年度に選定を行う以下の施設

《草津市社会福祉施設指定管理者選定評価委員会》

- ・草津市立西一会館／草津市立西一教育集会所
- ・草津市立橋岡会館／草津市立橋岡教育集会所
- ・草津市立新田会館／草津市立新田教育集会所
- ・草津市立常盤東総合センター／草津市立芦浦教育集会所
- ・草津市立長寿の郷ロクハ荘
- ・草津市立なごみの郷
- ・草津市児童育成クラブ

2 審議日程および経過

第1回 令和6年2月7日（水）午後3時30分から午後6時30分まで

主な審議内容

- ・評価制度の概要説明
- ・現地視察
草津市立新田会館／草津市立新田教育集会所、草津市立常盤東総合センター／草津市立芦浦教育集会所

第2回 令和6年2月9日（金）午前9時から午後1時20分まで

主な審議内容

- ・評価制度の概要説明
- ・現地視察
「のびっ子」老上、「のびっ子」常盤、草津市立長寿の郷ロクハ荘、草津市立なごみの郷

第3回 令和6年3月4日（月）午前9時から午後0時まで

主な審議内容

具申書案の検討

3 草津市社会福祉施設指定管理者選定評価委員会委員名簿

氏名	所属	対象施設
平柿 完治	弁護士	全施設
○北村 和生	立命館大学法科大学院教授	全施設
◎森本 美絵	京都橘大学発達教育学部客員教授	全施設
中川 理季	公益財団法人 世界人権問題研究センター 専任研究員	隣保館 教育集会所
栗田 但馬	立命館大学経済学部教授	長寿の郷ロクハ荘 なごみの郷
神部 純一	滋賀大学教育学部教授	児童育成クラブ
鑑継 榮一	公募委員	全施設

◎＝委員長 ○＝副委員長

4 評価方法等

書類（指定管理者および市作成の事業評価書、事業実績報告書、施設利用者アンケート等）および現地視察を基に各委員が以下の評価項目ごとに評価した。

- (1) 指定管理者による施設管理の有効性 【有効性】
 - ・施設の設置目的に沿った事業が実施され、その事業は質の高いものであったか。
 - ・利用者アンケートの結果、満足が得られているか。
- (2) 施設の管理・運営状況 【適正・効率性】
 - ・利用者数、稼働率、事業収支の状況について。
- (3) 公募・非公募、利用料金制の採用の効果
 - ・公募の余地はあるか。（非公募の場合）
 - ・使用料制の場合・・・利用料金制度導入の余地はあるか。
 - ・利用料金制の場合・・・利用料金制度の導入効果があるか。

(4) 今後の施設管理の方向性

- ・施設の設置目的を効果的に達成するために、指定管理者制度活用の継続の是非も含めて評価

※評価制度の詳細については、別紙「指定管理者選定評価委員会の評価について」のとおり

5 個別施設評価

●隣保館

草津市立西一会館／草津市立西一教育集会所

(指定管理: 特定非営利活動法人 ユウ・アンド・アイ)

① 指定管理者による施設管理の有効性
全6回の人権講演会、プロの演奏家を招いた地元の中学校吹奏楽部とのコラボ等、参加者が満足する事業が開催されており、アンケート結果でも、講座の内容が高評価を得ている。また、地域外の参加者が多く、地域住民の状況把握への意識と姿勢も評価されている。「ふれあいコンサート」等の質が高いイベントも開催しているが、参加者の少ない講座については広報等に工夫が必要である。
② 施設の管理・運営状況
事業は仕様書の基準を満たしており、参加者間の交流も積極的に行われている。コロナ禍を経て地域の人々の不安が変化する中でも、関係機関との連携に力を入れられている。また、予算計画と支出の間にズレは見られない。

草津市立橋岡会館／草津市立橋岡教育集会所(指定管理: 特定非営利活動法人 熱と光)

① 指定管理者による施設管理の有効性
参加者間の交流が活発に行われている。講座や教室に対する参加者の満足度は高く、安定した参加者数とリピーターの増加も確認できる。一方、報告書に示されている調査・研究業務の実績において考察が述べられているが、どのような調査・研究結果からその考察が導かれたのか明確にすべきである。
② 施設の管理・運営状況
事業は地域住民との信頼関係を築きつつ、仕様書に沿った形で行われ、相談件数も増加が確認できる。また、予算計画と支出の間にズレは見られない。

草津市立新田会館／草津市立新田教育集会所(指定管理: 特定非営利活動法人 心輪)

① 指定管理者による施設管理の有効性
施設の設置趣旨を踏まえた文化的な事業等、多くの講座が開催されており、相談業務のスキルアップにも取り組んでいる。教育集会所では、毎日教室を開放することで教育担当者と生徒の関係性が築けている。しかし、参加人数が少ない講座については広報等の工夫が必要である。地域住民の生活や課題を細かく調査し、対策を活動ごとに反映させているが、調査・研究の対象が利用者中心になっているため、それ以外の人々の状況も把握すると良い。
② 施設の管理・運営状況
福祉施設との連携や交流が進んでおり、相談件数も増加している。講座内容も多岐にわたり、参加者がまた参加したいと思えるような工夫がされており、仕様書以上の成果を出している。また、予算計画と支出の間にはズレがなく、事業は、問題改善だけでなく、地域共生社会の構築に向けた将来の課題も考慮されている。

草津市立常盤東総合センター／草津市立芦浦教育集会所

(指定管理者:特定非営利活動法人 ハート&ライト)

①指定管理者による施設管理の有効性

特に、人権フェスタは参加者が多く、人権意識の醸成に寄与した。講座数の増加からは、コロナ禍の落ち着きを見て新しい活動を展開しようという姿勢が見られるが、参加者数が少ない講座については広報等の工夫が必要である。また、「調査・研究」対象が利用者中心となっているため、それ以外の人々の状況も把握すると良い。アンケート結果において評価が高いにもかかわらず、参加者が増えない問題が見受けられることから、今後は、ニーズの把握に向けた行動が必要である。

②施設の管理・運営状況

仕様書に基づいた事業が実施され、教育集会所では教育担当者の関与が子どもたちの主体性を伸ばすことに繋がっており、隣保館では地域住民との交流が人権フェスタの成功に繋がっている。また、予算計画と支出の間にズレは見られない。

各隣保館／教育集会所共通

③公募・非公募、利用料金制の採用の効果

地域の実情を理解し、人間関係を構築している団体である。また、施設の性格（社会福祉等）と過去の経緯も考慮すると、非公募と使用料制が引き続き適切と判断する。

④今後の施設管理の方向性

報告書の内容や他府県の動向を考慮しても、引き続き指定管理者制度を導入することが適切だと考えられる。

●草津市立長寿の郷ロクハ荘(指定管理者:公益財団法人 草津市コミュニティ事業団)

①指定管理者による施設管理の有効性
適切な管理運営が行われており、他施設や他団体との連携による積極的な事業運営、救命講習の受講など多くの事業が実施されている。特に、老朽化する温浴施設の管理・運営業務遂行の中で「高齢者の活動拠点としての事業」、「人と人との交流事業」、「ボランティアの育成事業」等、色々な事業を長期的な視点に立って展開されている。一方、講座数は多いが、参加者数を考慮して整理が必要である。利用者アンケートが頻繁に行われており、特に温水洗浄便座の設置が求められているが、高齢者が利用する施設であるため、早期対応が望まれる。
②施設の管理・運営状況
利用者の利便性を最優先に迅速に対応しており、さまざまな団体と連携した魅力的な事業に取り組んでいるが、高齢者が利用する施設であるため、緊急対応できる体制を整えるための研修を徹底されたい。コロナ前と比べて入館者数は8割程度まで回復しており、これからの回復を期待する。
③公募・非公募、利用料金制の採用の効果
公募と利用料金制の導入は適切で、その効果も十分に出ていると評価する。
④今後の施設管理の方向性
施設の老朽化やエネルギー価格の高騰により、現状維持が精一杯であるようだが、施設管理は適正にされていると思われる。指定管理者制度の効果は既に十分に見えており、継続が望ましい。

●草津市立なごみの郷(指定管理者:特定非営利活動法人 ひかりグループ)

①指定管理者による施設管理の有効性
多種多様な事業を行い、多くの人々が利用しており、これにより施設の価値が発揮されている。特に「高齢者の活動拠点としての事業」、「人と人との交流事業」、「ボランティアの育成事業」等、色々な事業を長期的な視点に立って展開されている。また、講座数については適切な回数にするよう検討が必要である。利用者アンケート結果は適切に集計され、問題点を改善するために利用者対応を行っているという評価ができる。
②施設の管理・運営状況
利用者の約80%が草津市民で、施設が市民交流の場として機能している一方、高齢者の利用が多く、利用者の転倒事故も起きている。また、施設の管理は仕様書に基づき適宜点検が行われているが、老朽化に対する一定の対策が必要となっている。施設の老朽化から今後も問題が予想されるが、市と連携して費用対効果と安全性を担保した施設設備等を整える必要がある。
③公募・非公募、利用料金制の採用の効果
公募と利用料金制の採用は有効であり、適していると評価できる。
④今後の施設管理の方向性
指定管理者制度を継続する必要性は明確で、積極的に評価できる。

●草津市児童育成クラブ

「のびっ子」笠縫(指定管理者:企業組合 労協センター事業団)

①指定管理者による施設管理の有効性
季節に合わせた行事や避難訓練が行われている点は評価できる。しかし、施設の満足度は他施設と比べて低く、保護者会、親子行事への満足度が低い。アンケート結果の回答者数も少なかったため、改善が必要である。また、お便りは、子どもの生活が写真で掲載されており、日常を垣間見ることができる一方、個人情報保護の観点に留意されたい。支援員の人数が少ないと思われるため改善が必要である。
②施設の管理・運営状況
60人定員の施設で58人が利用しており、適正な数となっている。職員も時間が限られているなか、ZOOMを活用した研修を受けており、評価できる。また、活動費が年度計画の451.9%となっているが、予定外のものばかりではなく既存の行事も含まれているため、予算の見直しを行われたい。新たに導入された児童入退管理システムにより、保護者との情報共有の効果が見込まれているが、その評価について検証されたい。

「のびっ子」矢倉(指定管理者:社会福祉法人 草津保育園)

①指定管理者による施設管理の有効性
さまざまなイベントや避難訓練が定期的に行われ、全体的な満足度は高い。各種イベントやクラブ活動により児童の自主性や社会性を高める工夫もされている。アンケート結果によると、クラブ活動や季節の行事等が児童たちに好評である。その他にも、お便りの発行や個別懇談を通じて、支援員と保護者が子どもの生活を共有しており、特に保護者会や親子行事の満足度は他の施設より高い(47%)。しかし、計画で計上されている研修費が執行されていないことから、支援員に受講したい研修を聞き、支援員の質の向上のための改善が必要である。
②施設の管理・運営状況
新型コロナウイルス感染症対策が適切に行われ、90人定員の施設で99人と10%増で運営されており、放課後の子どもの福祉保障に寄与している。また、児童入退管理システムの導入により、保護者対応の改善が図られているかの検証もされたい。

「のびっ子」玉川(指定管理者:社会福祉法人 あさひ保育園)

①指定管理者による施設管理の有効性
スタッフは研修に積極的に参加し、支援員の保育の質の向上を図っている。季節の行事の他、けん玉、ペイント等の工作を取り入れる等、子どもたちに多くの体験機会を与えており、全体的に満足度は高く、特に保護者会や親子行事に対する満足度は他施設に比べて高いという結果が出ている。一方で、アンケート結果で出た意見に基づき、問題点を改善し、全支援員が共通の対応ができるよう対策が必要である。

②施設の管理・運営状況

定員を満たしており、適正に運営されている。また、支援員は余裕をもって配置し、保育にゆとりを持たせている。予算執行も適切に行われている。避難訓練も様々な想定に基づいて計画され、実施されている。上半期においては、保育中に事故が起こったものの、下半期には対策が取られ、改善がなされている。引き続き、怪我が起きないように十分な配慮が求められる。

「のびっ子」笠縫東(指定管理者:社会福祉法人 良友会)

①指定管理者による施設管理の有効性

救命講習やエビペン講習等を独自に行い、年24回の研修を実施するなど、支援員の質の向上に努めている。毎月避難訓練も実施し、多様な行事が行われている。しかし、季節の行事はクリスマス会のみであるため、日本の伝統文化に触れる行事の検討が必要である。また、子どもたちの自主性を尊重し、保護者とのコミュニケーションをとっているものの、保護者会や親子行事の満足度が低いため、改善が必要である。事故対応の迅速性についても整備が必要である。

②施設の管理・運営状況

I C Tシステム「コドモン」を導入し、入退室の管理や保護者との連携を工夫している。職員数は17人とゆとりある配置であり、利用者数は90人定員に対して90人が在籍し、適正な利用者数となっている。予算の執行も適正に行われている。ビジョントレーニングの導入も行われており、子どもたちの変化が期待される。トラブル対応については初期対応に問題があったようだが、迅速かつ丁寧な対応をお願いしたい。

「のびっ子」志津(指定管理者:社会福祉法人 志津保育園)

①指定管理者による施設管理の有効性

児童の安全管理について、学校等の関係機関との連携を密にしていることが評価できる。また、低学年の子どもたちが学習の習慣を身につけられるように宿題にきちんと取り組ませている点、季節や時期に適した行事を通じて感性を育てている点も評価できる。保護者会や親子行事以外の満足度は高い一方で、保護者会や親子行事に対する満足度は低いことは課題である。

②施設の管理・運営状況

利用者数は定員を10%以上超えており、子どもの放課後の生活の安全に寄与している。人件費は計画の59.3%しか実行されておらず、その他の費用については計画の1224.8%を使用しているが、その具体的な内容が報告されていないため、整理されたい。

「のびっ子」草津(指定管理者:企業組合 労協センター事業団)

①指定管理者による施設管理の有効性

コロナ禍の中でも季節に合わせた行事を1年間通して行い、毎月避難訓練を実施していることは評価できる。しかし、施設でのトラブル等について保護者への説明が不十分であり、子どもに関わる事柄については丁寧に説明することが重要である。保護者会や親子行事以外の満足度は高いが、保護者会や親子行事に関しては満足度が低いとの意見があるので、それに対する改善が求められる。

②施設の管理・運営状況

職員間の連携により、人員確保の難しさの中でも適切な管理運営が行われている。また、定員を超える児童を受け入れ、その安全と放課後の生活に寄与している。今後は、アンケート結果を通じて問題点の抽出を行い、職員間で共有されたい。予算執行は概ね適正であるが、研修費の実績が計画の8.3%と低く、他の科目でも予定の半分以下の実績しかない状況が多いことから、計画の立て方そのものを見直すことを検討されたい。

「のびっ子」常盤(指定管理者:企業組合 労協センター事業団)

①指定管理者による施設管理の有効性

研修に積極的に参加し、その後のレポート作成により支援員間の情報共有に努めている。学校の余裕教室を活用しているという利点を活かし、児童を中心に情報を共有しながら子どもの健全な発達を目指している。ただし各学年の終業時間が異なるため、職員だけでなく子どもたちも活動への配慮が求められる。時期に合った多様な行事が実施されている一方で、防犯訓練や避難訓練の回数は他施設と比べて少なく、保護者会や親子行事以外の満足度が低めである。なお、アンケート結果のフィードバックはICTを活用して迅速に行える可能性があるため、利用を検討されたい。

②施設の管理・運営状況

施設は90人の定員に対して89人が在籍しており、適正な利用者数を維持し、予算執行も適正に行われている。土曜日の職員配置は午前と午後に2人ずつで、13時の引継ぎ時に低学年の子どもが来室するため、情報引継ぎに時間を確保するのが難しい場合があると思われる。一部の保護者は行事への参加率が低い、子ども目線で保護者とのコミュニケーションを大切にし、ICTを活用することで児童の出退管理と保護者とのコミュニケーションの徹底が期待できると思われるため、検討されたい。

「のびっ子」山田(指定管理者:社会福祉法人 淡海すぎのこ会)

①指定管理者による施設管理の有効性

学校と密に連携を取り、子どもの日常生活の安定を図っている。運動する機会を体育指導という方法で定期的に行っている。しかし、季節の行事の実施がほとんどなく、保護者会や親子行事は開催されていない。それでも全体的に満足度は高く、研修内容の多様さや職員の増加への取組などから、施設の努力が認められる。

②施設の管理・運営状況

定員100人の施設に102人が在籍し、定員を超える児童を受け入れている状況であるものの、利用者数は適正であると考えられる。1年生から4年生までの在籍者が二桁となっており、子どもたちの安全な居場所になっている。予算の執行は適正に行われている。また、入会児童数が増加し、前年度比11.7%の実績を達成している点は評価できる。

「のびっ子」南笠東(指定管理者:社会福祉法人 あさひ保育園)

①指定管理者による施設管理の有効性

研修に積極的に参加し、質の高い保育に努めている。また、コロナ禍でも子どもが楽しむために、けん玉大会などの活動が行われている。なお、ハロウィンパーティーなどの子どもが楽しめる行事と共に、感性を育む伝統的な行事も検討されたい。毎月の避難訓練も行われ、アンケート結果からは子どもたちの成長や楽しい経験が見受けられることから、丁寧な保育が行われていると感じられる。全体的な満足度も高く、特に保護者会や親子行事に関しては他施設に比べ満足度が高い。

②施設の管理・運営状況

60人定員の施設に58人が在籍しており、利用者数は適切である。月一回の避難訓練については、様々な災害を想定して実施できており、その内容についてホワイトボードを通じて保護者と共有できている。予算の執行も適正に行われている。

「のびっ子」志津南(指定管理者:企業組合 労協センター事業団)

①指定管理者による施設管理の有効性

児童の安全管理に配慮しており、学校などの関係機関との連絡を密にしていることが評価できる。また、アプリや退所時の対面報告を通じて保護者に児童の様子をしっかりと伝え、その日の子どもの生活の連続性を確保している。一方で、飲食時のアレルギー対応は生命に関わることなので、支援員全員での情報共有や頻繁な研修が求められるが、現状では研修参加が相対的に少ないように見受けられる。事故対応の迅速性についても整備されたい。時期に合った行事が実施できているが、保護者会や親子行事については満足度が低く、全体として事業内容が他の施設と比較して少ないと思われる。

②施設の管理・運営状況

安全対策として防犯・防災マニュアルを作成し避難訓練を行っており、予算の使用は概ね適切に行われているが、研修費は計画の1.9%しか使われておらず、活動費も0.7%と低く、避難訓練の回数も他施設に比べて少ないように思われるため、改善が必要である。また、定員に対し利用者数が82.2%で、16人も少ないうえ、常勤の支援員についても少ないように思われる。保護者は安全な保育に敏感であるため、十分な研修の実施が必要であると考えられる。

「のびっ子」渋川(指定管理者:社会福祉法人 良友会)

①指定管理者による施設管理の有効性

児童が主体的にイベントを企画し、自主性や社会性を育む工夫がなされ、独自の救命講習等も評価できる。コロナ禍でも夏休みを活用してイベントを実施し、豊かな体験を提供している。支援員の資質向上のために20回の研修を行うなど環境改善に努めている。月1回の映画上映会では、子どもの希望と支援員として見せたい映画について話し合い等ができる。アンケート結果からは外遊びの機会増加の要望があるため、検討されたい。保護者会や親子行事への満足度も低いため、改善が必要である。

②施設の管理・運営状況

児童全体を見渡すための十分な職員配置がされている。しかし、常勤職員の勤務時間が週20時間と短く、子どもたちが来所する時間と勤務開始時間が近い。職員間のミーティングや引継ぎの時間が十分に確保することが困難である。出勤時間を少し早めるなどの検討が必要である。予算執行は適正に行われており、職員研修は年間を通じて66名が参加し研鑽に励んでいる。

「のびっ子」大路(指定管理者:企業組合 労協センター事業団)

①指定管理者による施設管理の有効性

児童入退管理システムを利用した、保護者との情報共有や児童の登校・降所管理が評価できる。また、季節の行事や事業の開催回数も多く、多様な行事や避難訓練も適切に実施されており、全体の満足度は高い。アンケート結果からは子どもたちに多様な経験の提供が認められ、保護者の要望に対し真摯に対応し実施していることが報告から読み取れる。研修については全職員がおおよそ1回参加しているが、その内容をどう共有するかが課題である。保護者会や親子行事に対する満足度は他の施設より高い。関係機関との連携も密で、施設の効用を最大に発揮する管理運営が行われている。また、アンケート実施によって目標と実績を対策し、職員全員と保護者間で共有していることも評価できる。

②施設の管理・運営状況

90人定員の施設で90人が利用しており、主な利用者は1年から3年生の児童で、子どもの集団がまとまりやすい状況である。32人の指導員がいるが、そのうち約半数は週10時間未満であるため子ども一人一人の状況の引き継ぎが重要である。施設運営は予算内で適正に行われている。また、職員全員の対応力向上により、定員上限までの利用に対応できている。

「のびっ子」老上(指定管理者:特定非営利活動法人 スポキッズ)

①指定管理者による施設管理の有効性

3クラスに分けられた異年齢保育や、季節ごとに行っている多彩でバラエティに富んだ行事を通じて児童の放課後の時間を充実させている。保護者、学校との連携も密に行っている。年間22回の研修会には1名から8名の職員が参加し、保育の質の向上に努めている。発行している「通信」も分かりやすい。一方で、アンケート結果によれば保護者会や親子行事に対する満足度は低いので、内容等の検討が求められる。

②施設の管理・運営状況

定員90人に対し、110%にあたる99人の児童を受け入れており、放課後の安全と福祉を保障している。1年生から3年生までの各学年で30人前後の児童が通所し、異年齢保育のバランスも保たれている。収支は適正で、利用者一人当たりの管理費の使用も適度に行われている。週間の勤務時間が40時間の職員4人を確保しており、雇用環境も適切である。ただし、避難訓練の回数はもう少し増やしても良いと考える。全体として運営は適切に行われており、予算の執行も適正になされている。

「のびっ子」老上西(指定管理者:社会福祉法人 ご縁会)

①指定管理者による施設管理の有効性

システムの導入と従来型の対面を用いたコミュニケーションを通じて保護者とのコミュニケーションを図っている。1年生から3年生の子どもたちと一緒に行事を企画・開催するなど自主性を育む活動を行っている点は評価できるが、季節行事を取り入れる等の工夫もされたい。また「実践記録検討会」という研修も開き、保育の質の向上を目指している。しかし、アンケート結果からは学習がおざなりになる児童もいるようであり、低学年は家庭学習の習慣をつける時期でもあるので、一定の指導が必要である。外部講師による研修が1回であったので外部研修を増やし、他の施設の職員と交流することも検討されたい。他施設と比較すると訓練等の回数が少ない点と、保護者の意向を聞く場についての満足度が48%と低くなっている点が課題である。3名の常勤支援員と9名の非常勤員の体制が適切かどうか、アンケート結果を用いた改善策やフォロー状況などについても確認をお願いしたい。

②施設の管理・運営状況

定員を満たしており、予算執行も適正に行われている。児童入退管理システムの導入によって保護者とのコミュニケーションも向上している。

各「のびっ子」共通

③公募・非公募、利用料金制の採用の効果

自主活動の取り入れや保育の質の向上が見込める公募制が適当だと考えられる。児童育成クラブは放課後の児童福祉を保障する目的で運営されており、利用者数に上限があるため、使用料制が適当である。

④今後の施設管理の方向性

各のびっ子における指定管理者制度の導入の効果が見られている。今後のさらなる保護者、教員、地域との連携、障害を持つ児童の受け入れ、職員研修の充実化等が望まれる。各施設によってICT、アンケート結果に対する取組の温度差がある。保育の質の向上のためには市の支援員の量と質の向上に対するバックアップが必要であると考えられる。